

令和5年度

施政方針

令和5年度
予算編成の
キーワードは

かん
敢

米田市長は「新たな事業や課題について果敢に取り組むという想いを込めた」と話しました。

新年度予算のもと、各事業に全力で取り組んでいきます。



2月15日定例記者懇談会

2月20日から開かれた3月市議会定例会初日で米田市長が述べた施政方針の概要をお知らせします。

第3次総合計画で重点課題としている「人口減少対策」と「住み続けたいくなるまちづくり」への取組について、健康・地域経済・教育を3つの重点項目として、様々な分野において、SDGsの目標を意識し、公民連携のもと一丸となって着実に実行していく必要があります。

このため令和5年度の予算編成においては、総合計画の重点項目を基に、次の4点を重点施策といたしました。

重点施策

- 1 地域経済の循環
- 2 医療・健康・福祉の充実
- 3 教育の推進
- 4 社会の動きへの対応

1 地域経済の循環

地域経済循環と地域課題解決に向け、官民連携して電子地域通貨システムを構築いたします。令和5年度はシステムの構築と、市内の加盟店で買い物や飲食ができる通貨としての運用を進めてまいります。

雇用の創出として、多様な働き方を推進するため、テレワークオフィスの運営を継続し、女性の就業につなげるための人材育成に取り組むほ

か、市内事業者が抱える労働力不足の解消を図るため、外国人材の雇用定着支援として、外国人材雇用支援アドバイザーを設置し、雇用に関する相談や、新規雇用に対する財政支援を行ってまいります。

県石ヒスイ関連では、県と共同で「県石指定記念シンポジウム」を開催いたします。日本随一のヒスイ原産地として情報発信を行い、県内外からの誘客につなげてまいります。